# 幼児だより３月号

みどり野保育園３月１日発行

２月３日みどり野保育園にはくじら鬼がやってきてお面と鬼のパンツを付けると「ガオー」と言いながらぺんぎんさんのお部屋に行きました。
みんなで「鬼は外！福はうち！」と豆まきを楽しむことが出来て良かったです。
そしてそして、幼児さんのお部屋には赤鬼と青鬼が現れました！！！
子ども達は急いで豆を手に取り、鬼に向かって「鬼は外！福はうち！」と言いながら豆を投げていました。
最後は鬼さんと仲良くなり、歌遊び「おにのパンツ」をみんなで楽しみました。

散歩が大好きな子ども達！４月に比べると体力も付き、歩くスピードがあがったり、チャレンジしても、登れなかった大きい土管の上に登れるようになるなど、たくさん歩いても元気いっぱい走って遊んでいます。

生活発表会の本番は、子ども達も緊張していましたが、
それまで積み重ねてきた練習から自信を得て、胸をはって
発表することが出来ていました。
各クラスの劇を見て憧れていた子ども達は発表会の後も、真似して
動いてみたり、友だちに聞いてごっこ遊びを楽しんでいます！
「こうやで」と物語を子ども同士で教え合ったり、自分の取り組んだこと以外にも興味を持って、触れ合うことが出来たり刺激し合えるって素敵だなと改めて感じました。

# どうしたら同じのができる？？

お部屋で遊んでいたある日、Ｔくんは Ｈくんと一緒に線路で遊び始めました。
「Ｈくん、これ作ろうよ！」と、線路のコーナーに貼ってある線路が繋がっている写真と同じものを作りたいと提案したＴくん。Ｈくんもその誘いにのり、すぐに2人で作り始めました。

Ｈくん：あーなってるで！
Ｔくん：ほんまや！こうかな？

見本をよく見ながら2人で
組み立てていきます！

しかし、なかなか上手く繋がりません…

Ｔくんは何度も見本を見に行き、
同じ線路を探していました。

何度もパーツを変えながら
試行錯誤していました。

やったー！！できた！

1つに繋げるのはなかなか難しく、
見本と全く同じというわけには
いきませんでしたが何とか
1つの線路に繋がり、2人で汽車を
走らせて楽しんでいました！！

これを作ろうと提案したＴくん主導で作り進めていった線路。線路のパーツは、長いものや短いもの、真っ直ぐなものや曲がっているものがあり、保育士も近くで見守りながら少しお手伝いしたりもしましたが、上手く繋げていくのはなかなか難しいものでした。しかし、Ｔくんはすぐに諦めることもなく何度も見本の写真を見に行き、このパーツかあのパーツかと試しては変えてを繰り返して、「Ｈくん、これじゃない？」「んー、これは短いやつかな？」「あ、こうしたらいいやん！」などと、Ｔくんの言葉からたくさん考えて作っていることがとても伝わってきました。自由に線路を繋げて遊ぶことも多いですが、この時は写真にあるものと同じ線路が作りたいと感じ、難しいからと諦めることなく試行錯誤して最後までやり遂げたＴくんの熱意に感心しました。

# 「やってあげる」と「いっしょにする」

～合宿保育の前日談～
始めは乗り物に乗って園外に出たり買い物をしたりしてウキウキな様子でしたが、ホッとする瞬間にお家が恋しくなることもあります。
Ｙくんはお母さんに会いたくなって寂しそう。ポンと近くにいたＲくんにタッチしました。
始めはそれがどういう意味か分からなかったＲくんですが、保育士が「Ｙくんは助けてほしいんじゃないかな」と声を掛けると、Ｒくんはずっと Ｙくんの背中を優しくトントンして、気持ちが落ち着くように関わっていました。

２日目の朝、身支度をする時にもＲくんがＹくんを気遣う姿がありました。

始めは、ＲくんはＹくんの代わりに支度を「やってあげよう」としていましたが、保育士の言葉がけもあり、Ｙくんにどう伝えれば分かってできるか考え、「いっしょにする」姿がありました。

今年の合宿保育の約束のひとつに「友達が困っていたら助け合う」という約束がありました。
自分達で決めた約束通り、子ども達はお互いのことを気にかけあって過ごしていました。
お友達が声を掛けてくれたことで、何をするのか分かり、安心して活動するＹくん。合宿保育が終わった後から、前よりも「〇〇くん」と呼びかける姿が増えたように思います。
また、Ｒくんも自分が代わりにするより、どうすれば出来るかを伝えることが大切と気づいたのではないでしょうか。「人はそれぞれ違うけれど、支え合っていけばみんなが楽しく過ごせる」ということをこの合宿でそれぞれが感じてくれていたらいいなと思います。

# 試行錯誤

３階の保育室で、したい遊びをする自由遊びの時のこと。車で遊び始めたと思っていたＳくんですが、10 分程経過しても一向に遊んでいる様子が見られずどうしたのかなぁと声をかけようとして、近づいて声をかけるのをやめました。あまりにも真剣な顔をしていたので・・・

拡大すると

なるほどね!?見本を見ながら同じように作ろうとしていたんですね。
でも、難しくてひとりごとで「どうやってするねん!!」って板の向きを変えてみたり、はめる位置をずらしてみたりの試行錯誤。すごい集中力でした。

普段Ｓくんは、絵を描いたり、お店屋さんごっこに必要だと思いついたものを作ったり、どちらかといえばいろいろ自由な発想で遊んでいる子です。なので、この時のように決まった形に作るのはあまり得意ではなかったかもしれません。けれど、成長と共にやってみようと諦めず、誰かにすぐに助けてもらうことなく頑張る姿に新たなＳくんの発見に繋がり嬉しくなりました。困っている姿を見たら、私たち大人はつい「どうしたの？」と声をかけて、手を貸してしまいがちですが、時にはグッと我慢して見守ることの大切さをこの時学ばせてもらいました。これからも試行錯誤の毎日になること間違いなしですが、少しずつの成長を見逃さないようにしたいと思います。

# ぼくがいるから、大丈夫

外遊びでは、公園に出て遊ぶことが多いのですが、滑り台やブランコは遊びの状況をみてオッケーとしています。この日も滑り台を楽しんでいたＲくん。滑り台の下から逆さ上りをして頂上までたどり着いたＲくんは公園を見渡してほっとしていた様子でした。すると、「Ｒくんたすけて～」という声が聞こえてきて、すぐに気づいたＲくんは呼んでいる友だちを見つけて助けようとしていました。

４月に入園してきたＲくんは、どちらかというと友だちに助けてもらうことの方が多く、いろいろな場面で「できないよ～」といって困っていることを訴えていました。そして、友だちや先生に手伝ってもらうと嬉しそうにしていました。
毎日友だちと一緒に生活したり、遊んでいく中で保育園が大好きになり、友だちのことも大好きになっていったＲくん。この出来事から、友だちが困っていたり、助けてほしいと言ってきたことに応えてあげようという気持ちが育っていることに成長を感じ、嬉しく思いました。これからもっと交友関係が広がり、仲間と協力して遊ぶことの楽しさを感じ、頼ってもらえる喜びを自信に変えていってくれることと思います。一人で出来ることが増えただけではなく、頑張ってみようという気持ちや、優しさが育ち次は年下の子の事も気にかけてあげられる男の子になっていってくれることと思います。